

取扱説明書 施工要領書

ソフトアクアレール ベースプレート

- この度は「ソフトアクアレール」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
ご使用前にはこの取扱説明書・施工要領書をよくお読みの上、正しく安全にご使用ください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

納入業者様へ

施工は納入業者様が行ってください。
施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

お客様へ

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



マークの種類について

- ⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容
- ⚠ 注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
- 🚫 禁止行為
- ❗ 必ず行う

もくじ

安全上のご注意	2
施工方法	
・施工前の準備・確認事項	3
・ユニットバス	
化粧鋼板での施工方法	4
・在来工法	
コンクリート下地での施工方法	4
木下地での施工方法	5
・ベースプレートのシーリング方法	5
・ベースプレート用ねじキャップの取付方	5
・エンド・コーナーキャップの取付方	5
・ブラケットの施工方法	6
お手入れ方法	7
基本仕様	7

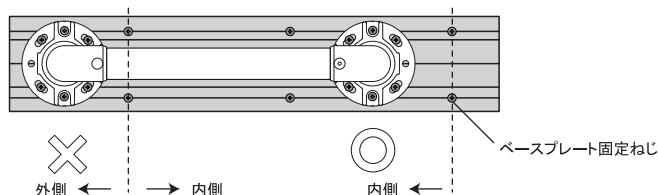
安全上のご注意

- 施工前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。



警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容

- ⊘ 他シリーズ(ステンアクアレール・ソフトアクアレールプラスを含む)、他社製品との併用は絶対にしない。
- 施工可能な壁以外の壁には絶対に取付けない。
(P. 3 施工前の準備・確認事項参照)
- ベースプレート固定ねじの外側でブラケットを絶対に取付けない。
ブラケットはねじとねじの内側に必ず取付ける。



- ❗ 壁の種類に応じて指定の取付けねじで指定のねじ止め位置に必要な本数を必ず取付ける。
(P. 4~5 参照)
- 指定の下穴径、指定のねじピッチを必ず守る。
(P. 4~5 参照)
- 過去に生産された一部のユニットバスにおいて、壁の下地材や壁の基材に石綿(アスベスト)を含有したものを使用している場合がある為、施工前には必ずユニットバスメーカーへ確認する。



注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容

- ⊘ 屋外で使用しない。
 - 強い衝撃を与えない。
 - 火気を近づけたり、ヒーター等(暖房機)の前で使用しない。
 - 変形・変色・やけどの原因となる。
 - 必要な部品を省かない。
 - 製品に乗ったり、ぶらさがったりしない。
 - 無理な力を加えない。
 - 破損があるものは使用しない。
 - 改造は絶対にしない。
 - オフセットブラケットとの併用はしない。
 - 出隅ブラケットとの併用はしない。
 - スペーサーとの併用はしない。
 - 海外で使用しない。※本製品は日本国内専用
- ❗ 浴室で使用する場合は必ずシーリングを行う。
 - ユニットバスに取付ける場合、ねじ止め位置はパネルとパネルのジョイント部から100mm以上離す。
パネル裏のジョイント部材にねじが干渉する恐れがある。
 - 壁の材質がわからない場合は各ユニットバスメーカーへ確認をする。
 - 施工後はガタツキが無いことを必ず確認する。
 - 別売のエンドキャップ(BP-01W)、コーナーキャップ(BP-02W)、ねじキャップ(SAQ-OP4)は必ず取付ける。
 - 異常があった際は使用を中止して納入業者様、またはマツ六までご相談ください。

施工方法

施工前の準備・確認事項

- 施工可能な壁と使用するベースプレート固定ねじを確認する。

ユニットバス

化粧鋼板 (0.4mm以上)
石こうボード (9mmまたは12mm)
合板 (4mm以上)
ウレタン (5mm)
鋼板 (0.4mm以上)
化粧鋼板 (0.4mm以上)

固定ねじ SAQ-OP6 (別売)
トラスタッピンねじ 5×20
※ブラケット同梱品を使用しても良い

施工方法はP. 4へ

在来工法

コンクリート
モルタル
タイル (5mm)

固定ねじ SAQ-OP7+オールプラグ (別売)
トラスタッピンねじ 5×70
オールプラグ
※ねじはブラケット同梱品を使用しても良い

施工方法はP. 6へ

施工不可能な壁

フレキシブル板
発泡ポリスチレン
けい酸カルシウム板
タイル

×

- ・FRP
- ・ホーロー
- ・けい酸カルシウム板+石こうボード
- ・天然大理石
- ・その他強度不足の壁

木下地

間柱
ラス網
モルタル
木摺り
タイル (5mm)
柱
下地
間柱
石こうボード (9mmまたは12mm)

※ねじは間柱に打つ。
※ねじは柱・間柱または下地に打つ。

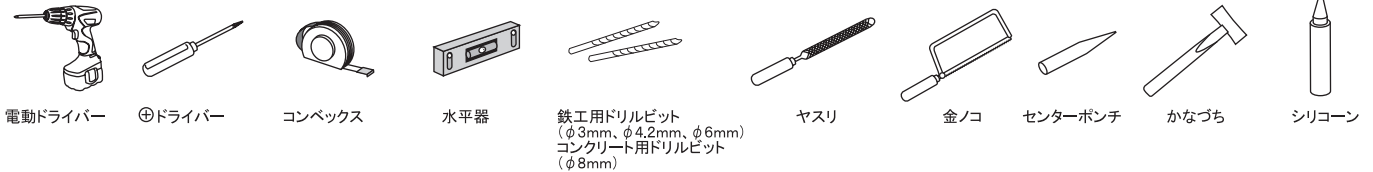
固定ねじ SAQ-OP7 (別売)
トラスタッピンねじ 5×70
※ブラケット同梱品を使用しても良い

施工方法はP. 6へ

⊘ 施工可能な壁以外の壁には絶対に取付けない。

❗ 壁の種類に応じて指定の固定ねじで必ず取付ける。

- 施工に必要な工具類



ユニットバス 化粧鋼板での施工方法

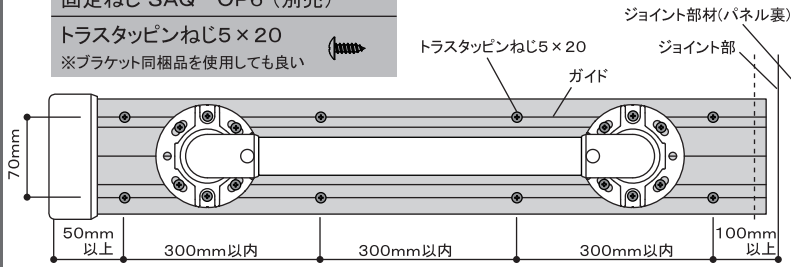
1. 使用するベースプレート固定ねじとねじピッチを確認する。

ねじ止め位置はパネルとパネルのジョイント部から100mm以上離す。
一番端のねじはエンド・コーナーキャップが取付く為、ベースプレートの端より50mm以上離して取付ける。ねじは上下端のガイド位置に固定する。

固定ねじ SAQ-OP6 (別売)

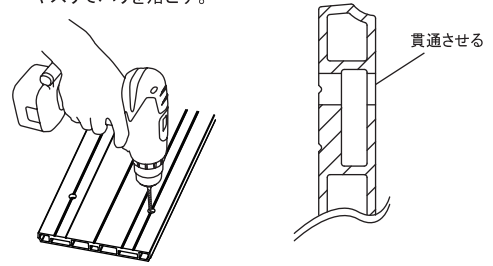
トラスタッピンねじ 5×20

※プラケット同梱品を使用しても良い



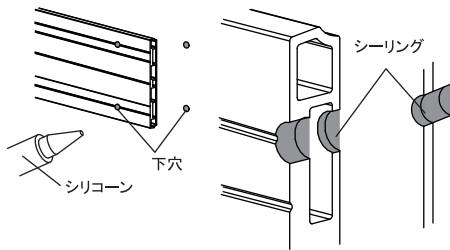
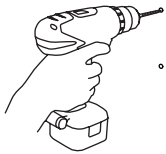
2. ベースプレートに下穴(φ6mm)をあける。

下穴はベースプレートを貫通するまであける。
ベースプレートにバリが発生した場合はヤスリでバリを落とす。



3. ねじ止め位置を壁にけがき、下穴(φ3mm)をあける。

センターポンチを使用して下穴の中心を出すと施工しやすい。
鉄工用ドリルビットを使用する。

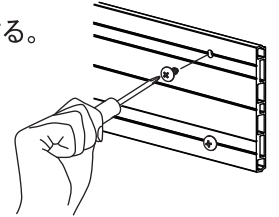


4. ベースプレートと壁の下穴にシーリングを行う。

下穴がシリコンで埋まるようにしっかりとシーリングを行う。

5. ベースプレートを固定する。

ねじは必ず手回して取付ける。
強く締めすぎるとねじが空回りし、ガタツキや脱落の原因となる。



●ねじがベースプレートに接してから半回転以上締め付けない。また、電動ドライバーでねじを取付けない。強く締めすぎるとねじが空回りし、ガタツキや脱落の原因となる。

在来工法 コンクリート下地での施工方法

1. 使用するベースプレート固定ねじとねじピッチを確認する。

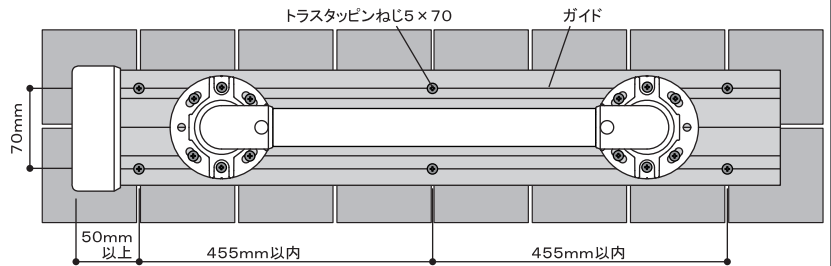
一番端のねじはエンド・コーナーキャップが取付く為、ベースプレートの端より50mm以上離して取付ける。
タイルに取付ける場合はタイルの目地位置にねじ止めをすると施工しやすい。ねじは上下端のガイド位置に固定する。

固定ねじ SAQ-OP7+オールプラグ (別売)

トラスタッピンねじ 5×70

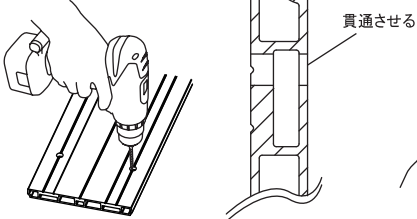
オールプラグ

※ねじはプラケット同梱品を使用しても良い



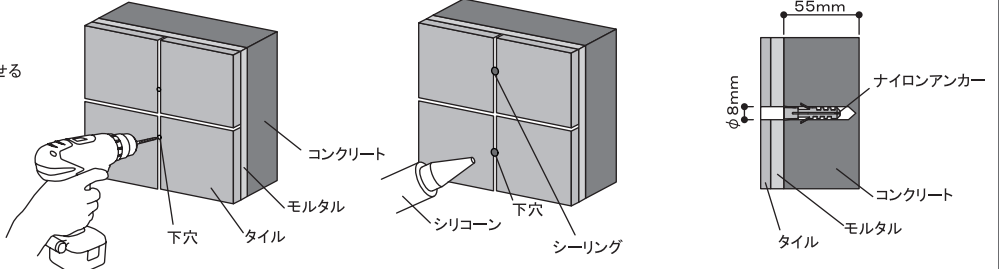
2. ベースプレートに下穴(φ6mm)をあける。

下穴はベースプレートを貫通するまであける。
ベースプレートにバリが発生した場合はヤスリでバリを落とす。



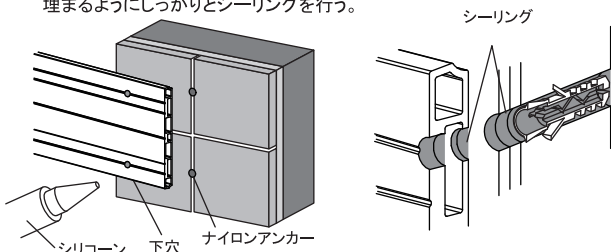
3. ねじ止め位置をけがき、下穴(φ8mm)をあけ、シーリングを行い、ナイロンアンカーを挿入する。

タイルの場合は磁器タイル用ドリルビットを使用する。下穴深さはコンクリート面から55mm。

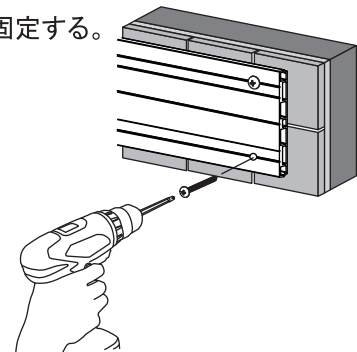


4. ベースプレート下穴とナイロンアンカーにシーリングを行う。

ナイロンアンカーとベースプレート下穴がシリコンで埋まるようにしっかりとシーリングを行う。



5. ベースプレートを固定する。



在来工法 木下地での施工方法

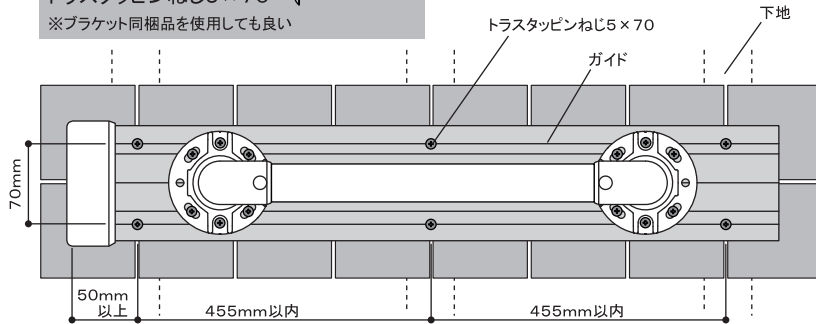
1. 使用するベースプレート固定ねじとねじピッチを確認する。

ねじは木下地に止める。一番端のねじはエンド・コーナーキャップが取付く為、ベースプレートの端より50mm以上離して取付ける。タイルに取付ける場合はタイルの目地位置にねじ止めをすと施工しやすい。ねじは上下端のガイド位置に固定する。

固定ねじ SAQ-OP7 (別売)

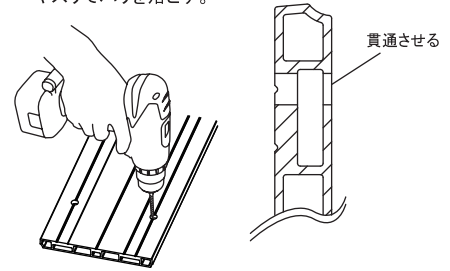
トラスタッピンねじ5×70

※プラケット同梱品を使用しても良い



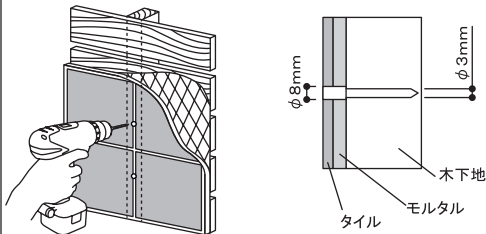
2. ベースプレートに下穴(φ6mm)をあける。

下穴はベースプレートを貫通するまであける。ベースプレートにバリが発生した場合はヤスリでバリを落とす。



3. ねじ止め位置を壁にけがき、下穴をあける。

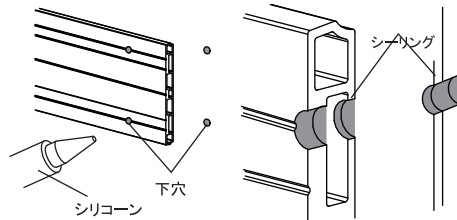
タイルの場合は磁器タイル用ドリルビットを使用する。



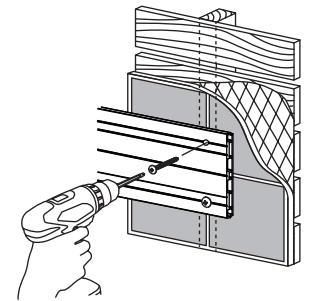
・壁の表面がタイルの場合はタイル、モルタル層までφ8mmの下穴をあけ、木下地にφ3mmの下穴をあける。

4. 浴室内で使用の場合はベースプレートと壁の下穴にシーリングを行う。

下穴がシリコンで埋まるようにしっかりとシーリングを行う。

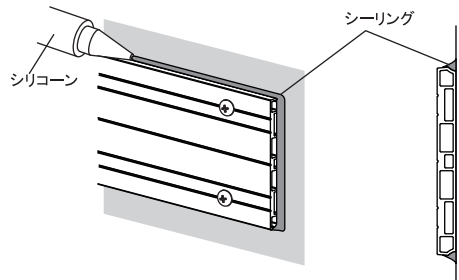


5. ベースプレートを固定する。



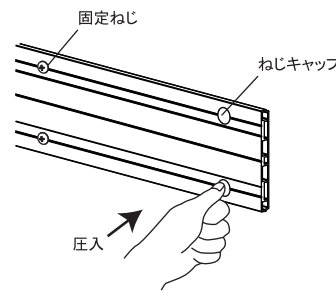
ベースプレートのシーリング方法

・浴室で使用の場合は必ず全周にシーリングを行う。



ベースプレート用ねじキャップの取付方

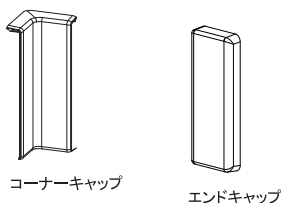
別売のベースプレート用ねじキャップ(SAQ-OP4)を用意して、ベースプレート固定ねじのねじ頭へ圧入する。



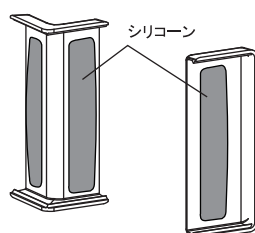
エンド・コーナーキャップの取付方

・ベースプレート本体のシーリングが完了後に取付ける。
・キャップの全周全てにシーリングを行う。

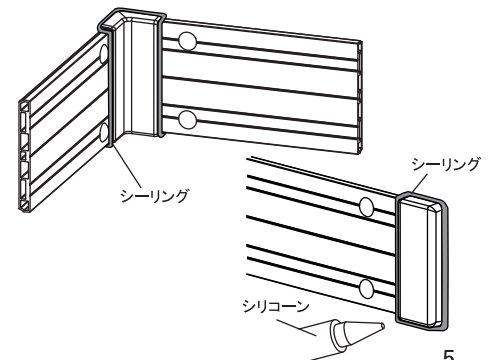
1. 別売のエンドキャップ (BP-01W) または、コーナーキャップ (BP-02W) を用意する。



2. エンドキャップ・コーナーキャップの内側にシリコンを塗布する。



3. ベースプレートに取付け、キャップの全周にシーリングを行う。

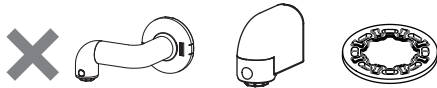


・シリコンでベースプレートと接着する為、必ず塗布する。

ブラケットの施工方法



・オフセットブラケット・出隅ブラケット・スペーサーはベースプレートに取付けない。



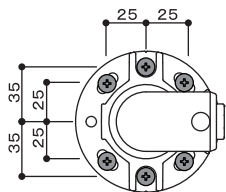
・施工後はガタツキが無いことを必ず確認する。

1. 使用するブラケット固定ねじと各ブラケットのねじ止め位置を確認する。

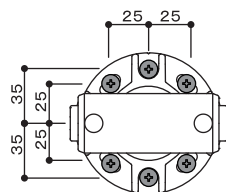
ブラケット固定ねじ SAQ-OP5 (別売)
トラスタッピンねじ5×16



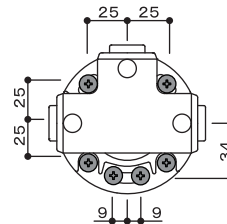
エンドブラケット 6本



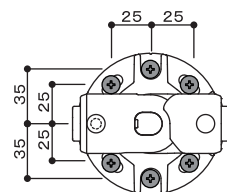
チーズブラケット 6本



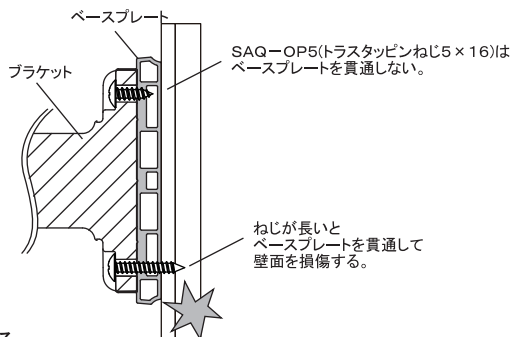
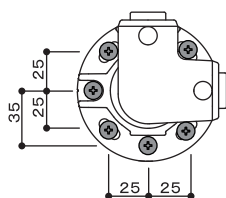
三方ブラケット 6本



自在Lブラケット 6本



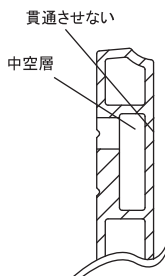
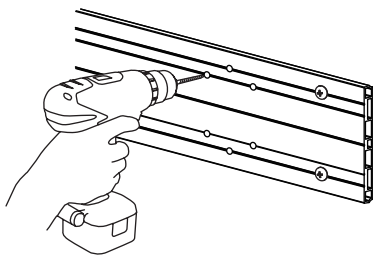
コーナーブラケット 6本



・固定ねじは必ずSAQ-OP5を使用する。それ以外のねじを使用すると、強度不足や、ねじがベースプレートを貫通して壁面を損傷する恐れがある。

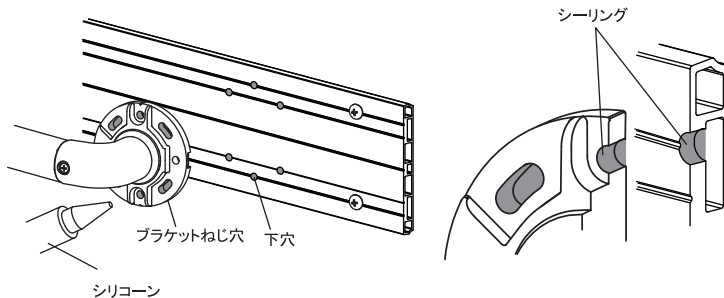
2. ベースプレートにブラケット固定ねじ用の下穴(φ4.2)をあける。

ベースプレートにバリが発生した場合はヤスリでバリを落とす。



3. 下穴とブラケットねじ穴にシーリングを行う。

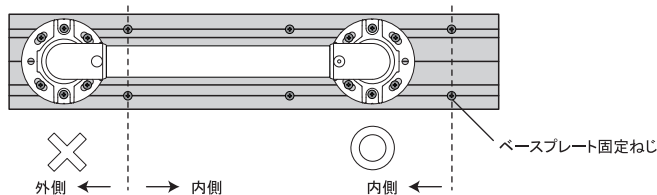
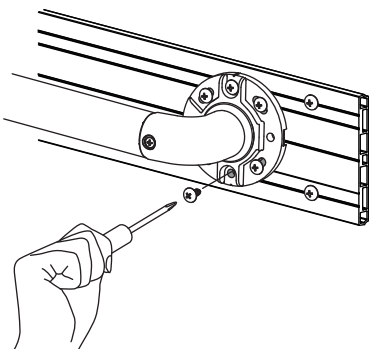
下穴と使用するブラケットねじ穴がシリコンで埋まるようにしっかりとシーリングを行う。



・下穴はベースプレートの中空層で止める。絶対に中空層より貫通させない。

4. ブラケットを取付ける。

ねじは必ず手回しで取付ける。強く締めすぎるとねじが空回りし、ガタツキや脱落の原因となる。



・ベースプレート固定ねじの外側でブラケットを絶対に取付けない。ブラケットはねじとねじの内側に必ず取付ける。
・ねじがブラケット座に接してから半回転以上締め付けない。また、電動ドライバーでねじを取付けない。強く締めすぎるとねじが空回りし、ガタツキや脱落の原因となる。

お手入れ方法

から拭きでのお手入れ

1. やわらかい布でから拭きする。

中性洗剤でのお手入れ

1. 中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭きとる。
2. 洗剤が残らないように水拭きする。
3. 最後に柔らかい布で水気を完全に拭きとる。

塩素系洗剤でのお手入れ

※市販の漂白剤(塩素濃度約5%)の場合

1. 塩素系洗剤を濃度0.02% (500mlのペットボトル1本の^{注1)}水に2ml、ペットボトルのキャップ半杯)以下で希釈する。

注1)厚生労働省「社会福祉施設、介護老人保健施設におけるノロウイルスによる感染性胃腸炎の発生・まん延防止策の一層の徹底について」における消毒液の基準に準じる

2. 柔らかい布に含ませた後、固く絞り、洗剤が1箇所^{注1)}に溜まらないように注意しながら手早く拭く。
3. 洗剤が残らないように水拭きする。
4. 最後に柔らかい布で水気を完全に拭きとる。

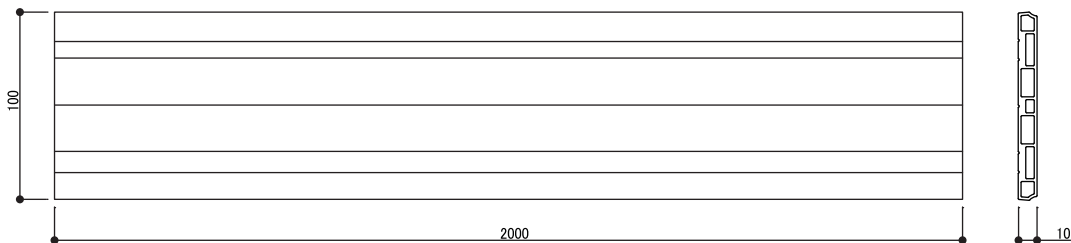
- ⊘ 酸性、アルカリ性洗剤やシンナー、ベンジン等の有機溶剤は使用しない。(変形変色の原因となる。)
- ⊘ クレンザー、磨き粉、ナイロンたわし等は使用しない。(傷の原因となる。)
- ⊘ 浸け置き洗いはしない。(変形変色の原因となる。)

基本仕様

ソフトアクアレール用ベースプレート
BP-1

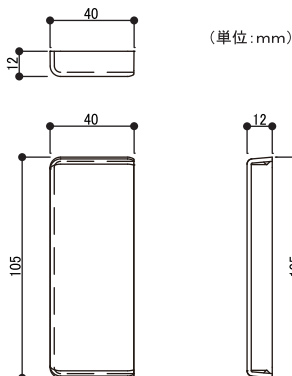
材質:アルミ

(単位:mm)



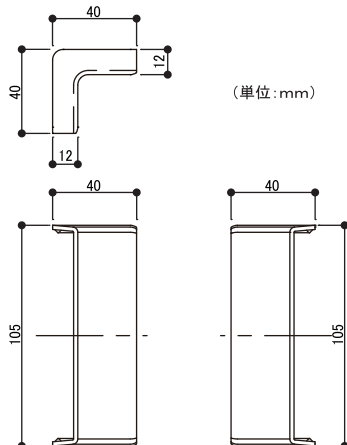
ソフトアクアレール用
ベースプレートエンドキャップ (別売)
BP-01W

材質:ASA樹脂

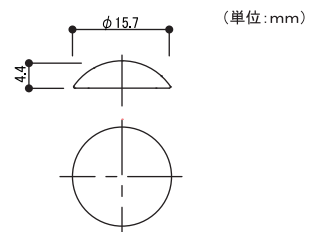


ソフトアクアレール用
ベースプレートコーナーキャップ (別売)
BP-02W

材質:ASA樹脂



ベースプレート用ねじキャップ (別売)
SAQ-OP4



 **マツ六株式会社**
〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL: 06-6774-2255 FAX: 06-6774-2248
<https://www.mazroc.co.jp/>